

吉方をたどる、家族と紡ぐ恵みの旅

大澤 孝さん（坂本）



私

の趣味は旅行です。妻と一緒に過ごす旅行は、何よりの楽しみとなっています。旅は一泊から二泊ほどが多く、これまで出雲や北海道、長野、福島、岩手など、日本各地を巡ってきました。それぞれの土地には異なる魅力があり、訪れるたびに新たな発見と喜びがあります。

私の旅行には一つのこだわりがあります。それは神職という職業柄、「祐気取り」を意識していることです。その年、その月、さらには時間によって自分にとっての吉方は変化します。そのため、旅の計画を立てる際には、まず最適な方角を知ることから始めています。

そして、導かれた吉方にある名所を訪ね、その土地の水や食材をいただき、温泉に入り、宿に泊まります。こうした体験を通じて、その土地が持つ良いエネルギーを心身に取り入れることができると感じています。また、吉方をもとに旅程を考える時間そのものも、非常に楽しく充実したひとときです。意味を持って選ばれた旅路は、単なる観光にとどまらず、かけがえない思い出を深めると同時に、自分自身を整える大切な機会にもなっています。これからも吉方を大切にしながら、豊かな旅を続けていきたいと思えます。



地域とともに歩む

保護司としての務め

私は保護司を務めて三年になります。

保護司の役割は、担当する方と月に二回面談を行い、その状況を法務省へ報告することです。面談だけでなく、サポートセンターに赴き、活動方針の決定に関わったり、研修に参加したりすることも大切な務めです。

保護司は、社会復帰を目指して努力される方々を支える仕事であり、その責任の重さを日々感じています。

また、日頃から村内外の多くの方々に支えられていることに深く感謝しております。そのご恩に報いるためにも、これから地域や村のためにも、少しでも力になれるよう、誠実に励んでまいります。